

令和３年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立湖南中学校）

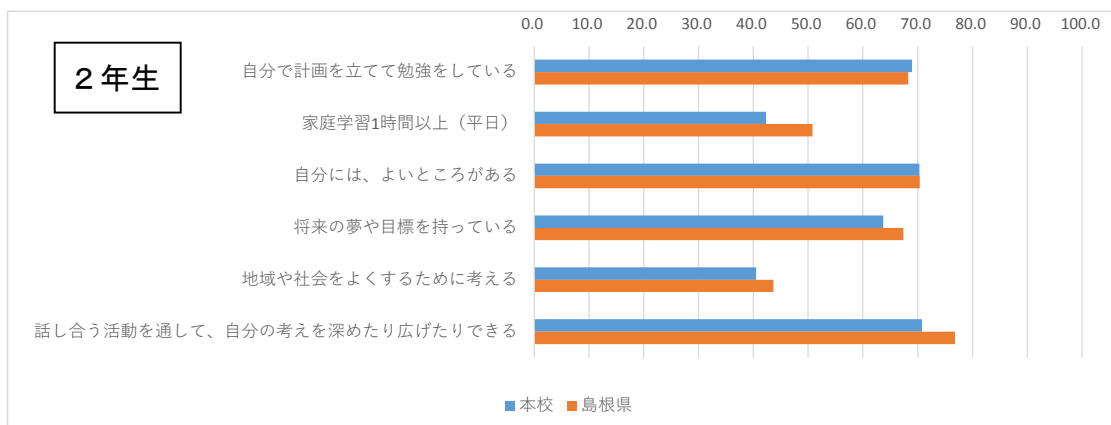
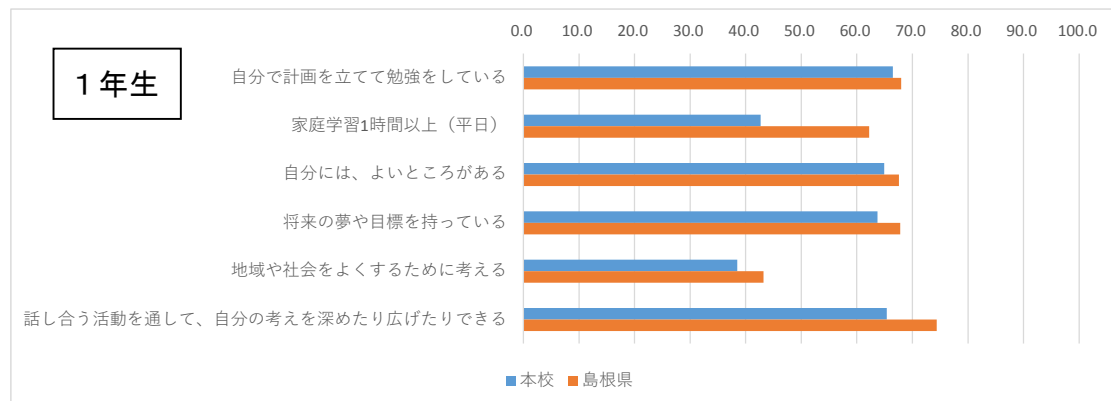
(1) 学力調査結果から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1 年 国 語	○読むことに関する正答率が高い。 ○漢字の読み取りの正答率が高い。 ●漢字の書き取りや、文法や語句などの正答率が低い。 ●自分の考えを明確にして書くことを苦手とする生徒が多い。	2 年 国 語	○漢字や文法など基礎的な内容が定着している。 ●記述問題の無回答率が高い。
1 年 数 学	○全体的に、県平均より少し低い。 ○比例の問題で、県平均より正答率が高い問題が少しあった。 ●文字式、方程式、図形で、目標値に届かない問題が多い。	2 年 数 学	○計算問題を解くための知識や技能は、多くの生徒に定着している。 ○事象や数量を関数と関連付けて、問題を解くことができる。 ●問題を解く過程を説明することが苦手な生徒が多い。
1 年 英 語	○リスニング(様々な英文の聞き取り)の能力は県平均に比べて若干低い、他の領域に比べて定着している。 ●場面に応じて書く英作文の正答率が県平均と比べて大きく下回っており、書く力が定着していない生徒が多い。	2 年 英 語	○具体的な場面を想定した言語活動を行ったことで、文法や語彙が定着している。 ●英文を読んだり聞いたりして概要を捉えることが苦手な生徒が多い。

(2) 生活意識調査から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1 年	○自分のよいところについて、とてもあてはまる、と答えた生徒の割合が県平均を上回っている。 ●下位層ほど自分で計画を立てている割合が少ないことから計画の立て方について指導支援することが必要である。 ●話し合い活動を通して自分の考えを深めたり広げたりできる生徒の割合が少ない。	2 年	○自分で計画を立てて勉強していると答えた生徒が、県平均を上回っている。テスト前の学習指導に効果があった。 ●平日の学習時間1時間以上の割合が県平均を下回っているため、テスト前以外の家庭学習の指導が必要である。 ●将来の夢や目標をもっている生徒、話し合う活動を通して自分の考えを深めたり広げたりできる生徒が、県平均を下回っている。継続的な指導が必要である。
--------	--	--------	---

(3) 意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 1年生 182名 2年生 166名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。